

## 2007年における中国の対外貿易と石油貿易

中国海関（税関）総署の広報によると、2007年の中国の対外貿易総額は初めて2兆ドルの大台に乗り、約2.2兆ドルに達した。前年に比べ4,134億ドル、23.5%の増加である。WTO加盟以来の6年間、中国の対外貿易額の伸び率は毎年20%を上回っている。

2007年の輸出額は1.2兆ドル（対前年比25.7%増）、輸入額は9,558億ドル（20.8%増）であり、貿易黒字は2,622億ドルに達した。

同資料によると、2007年の中国の最大貿易相手はEUであり、貿易総額は3,562億ドル、対前年比27%増加した。第2の貿易相手はアメリカであり、貿易総額は3,021億ドル、対前年比15%増加した。日本は中国にとって第3番目の貿易相手であり、最大の輸入先である。両国の貿易総額は2,360億ドル、対前年比13.9%増加した。うち中国の対日輸出は1,020億ドル、輸入は1,339億ドルであった。

輸入品の詳細を見ると、機械電気製品とハイテク製品を除く最大の輸入品は原油である。2007年の原油輸入量は2006年の1億4,517万トンから1億6,317万トンに増え、12.4%もの増加となり、輸入額は世界の原油価格の上昇によって、20.1%増、797.7億ドルに達した。また、石油製品の輸入量は前年度の3,637万トンから7.1%減って3,380万トンになった。石油製品輸入額は164.4億ドルである。原油と石油製品の輸入額の合計は962.1億ドルで、中国の輸入総額の9.4%を占めた。

輸出品の内容を見ると、原油の輸出量は前年比-38.7%、389万トンとなり、輸出額は16.9億ドルとなった。石油製品の輸出量は前年の1,235万トンから25.6%増加して、1,551万トンに達した。輸出額は91.5億ドルである。

輸出入の数字から試算すると、2007年の原油の純輸入量は1億5,928万トン、石油製品の純輸入量は1,829万トン、石油（原油と石油製品）純輸入量は1億7,757万トンに達した。石油の純輸入金額は853.7億ドルであった。

中国の経済成長と対外貿易の増加に伴い、石油消費の増加と国内の生産能力の低下によって、石油輸入の急速な拡大が続いている。世界銀行は、2008年中国の経済の成長率を10.5%と予測している。2008年の中国の石油純輸入は2億トン近くになると見込まれる。



2008年1月11日

(エイジアム研究所 首席研究員 張 継偉)

**Asiam Research Institute** <http://www.asiam.co.jp/>